

大淀川（宮崎県）の現地調査概要

- ・宮崎県では、台風や集中豪雨により、平成 17 年 9 月の「平成 17 年 9 月台風洪水」、昭和 29 年 9 月の「昭和 29 年 9 月洪水」を始めとする水害が幾度も発生している。
- ・文献調査に基づき、過去の記録が残る地域において詳細情報を収集するため、宮崎県大淀川で現地調査を実施した。

調査地点：宮崎県大淀川



▲調査箇所図

出典：国土地理院

【昭和 29 年 9 月洪水（台風第 12 号）の概要】

- ・台風第 12 号の接近により、9 月 10 日より降り始めた雨は 12～13 日に豪雨となり、総雨量は平野部で 250～300 mm、山地部で 700～1000 mm となった。河川の水位は 12 日夕刻、各地点共指定水位に達し、13 日早朝、各地点が警戒水位に達するという異常な増水記録を示し、高岡町を始めとする中流各地域、及び下流の宮崎市内には 13 日 12 時～13 時に沿川住民に対する避難命令が発令された。

▼昭和 29 年 9 月洪水（台風第 12 号）による大淀川水系の被災状況

死者、行方不明者・負傷者	死者 5 名、負傷者 2 名
流失及び全半壊戸数	流出 28 戸、全壊 72 戸、半壊 215 戸
床上・床下浸水	3,173 戸

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成 30 年 6 月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

▼台風第 12 号による五ヶ瀬川水系の被災状況

死者、行方不明者・負傷者	死者 12 名、行方不明者 4 名、負傷者 15 名
流失及び全半壊戸数	全壊 379 戸、半壊 916 戸
床上・床下浸水	6,231 戸

出典：五ヶ瀬川水系河川整備基本方針（平成 20 年 2 月）[国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所]

【昭和 29 年 9 月台風の被災状況】

4-3

<昭和29年9月洪水>

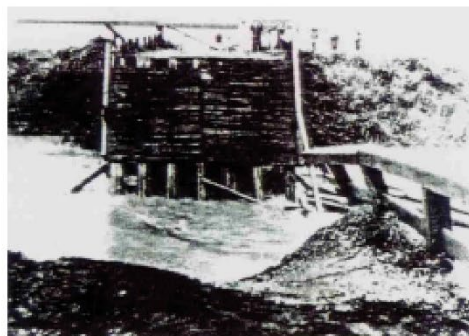


右岸大塚町付近の浸水状況（宮崎市）



流出寸前の赤星橋
（都城市）

源野橋の流失
（都城市・横市川）



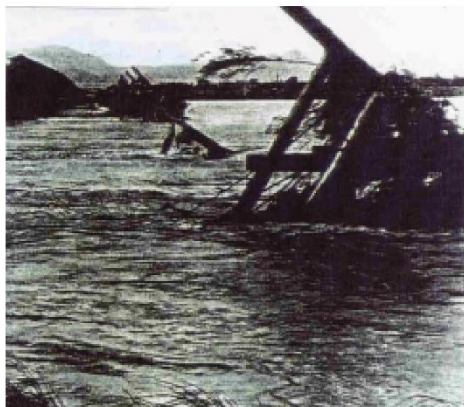
出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成 30 年 6 月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

<昭和29年9月洪水>



軒先まで浸水した家
(高岡町)

流出した高松橋 (宮崎市)



流出する二巖寺橋 (都城市)

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

【平成9年9月台風洪水（台風第19号）の概要】

- ・台風19号の接近に伴い宮崎県全域が大雨となった。
- ・大淀川流域では9月14日1時頃より降り出した雨が断続的に降り続き、16日1時頃より雨は強まり、末吉で27mm、比曽木野で35mm、青井岳で36mm、また、三股では16日2時から3時の間に69mmを最高に大淀川上流域全般で大雨が降った。
- ・この雨により、大淀川全川で警戒水位を突破し、最高水位が岳下で5.31m、高岡で7.08m、柏田で8.22mと過去最高の水位を記録した。
- ・台風19号は9月16日～18日にかけて猛威を振るったとされている。

▼平成9年9月台風洪水（台風第19号）による大淀川水系の被災状況

死者、負傷者	死者2名、負傷者3名
家屋全半壊戸数	25戸
床上・床下浸水	987戸

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

▼台風第19号による五ヶ瀬川水系の被災状況

死者	1名
家屋全半壊戸数	21戸
床上・床下浸水	2,979戸

出典：五ヶ瀬川水系河川整備基本方針（平成20年2月）[国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所]

【平成9年9月台風洪水の被災状況】



▲宮崎市大塚地区



▲宮崎市福島地区



▲宮崎市高岡地区



▲宮崎市高岡地区



▲宮崎市瓜田地区

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

1. 大淀川の概要

1.2 治水の沿革

1.2 治水の沿革

1.2.1 水害の発生状況

大淀川流域の年平均降水量は約 2,600 mm 程度であり、洪水の原因の多くは 8 月～9 月に発生する台風に伴う降雨によるものです。

大淀川の主要な洪水は昭和 29 年 9 月洪水、昭和 57 年 8 月洪水、平成 5 年 8 月洪水、平成 9 年 9 月洪水、平成 16 年 8 月洪水、平成 17 年 9 月洪水、平成 22 年 7 月洪水等であり、その中でも昭和 29 年 9 月洪水や昭和 57 年 8 月洪水、並びに平成 17 年 9 月洪水は、治水計画改定の契機となるような特に大きな洪水となりました。

表 1.2.1 既往主要洪水の概要

洪水名 (発生原因)	流量(m ³ /s) ^{※1} <柏田>	被害状況 ^{※2}	備考
S11 年 7 月 22～23 日 (暴風雨)	不明	死者 : 3 名 負傷者 : 2 名 家屋全壊 : 6 戸 家屋半壊 : 7 戸 家屋流出 : 7 戸 家屋浸水 : 5173 戸	昭和 2 年 大淀川下流、本庄川下流の直轄改修工事 計画高水流量 : 5,500m ³ /s <宮崎地点>
S18 年 9 月 18～20 日 (台風第 26 号)	不明	死者 : 114 名 負傷者 : 161 名 行方不明 : 1 名 家屋全壊 : 567 戸 家屋半壊 : 1165 戸 家屋流出 : 508 戸 床上浸水 : 9361 戸	
S24 年 8 月 14～16 日 (台風第 9 号)	不明	死者 : 7 名 負傷者 : 15 名	昭和 24 年 大淀川上流の直轄改修工事 計画高水流量 : 3,000m ³ /s <樋渡地点>
S29 年 9 月 10～13 日 (台風第 12 号)	約 7,000	死者 : 5 名 負傷者 : 10 名 家屋全壊 : 72 戸 家屋半壊 : 215 戸 家屋流出 : 28 戸 床上浸水 : 3173 戸 床下浸水 : 5303 戸	昭和 28 年 総体計画 計画高水流量 : 4,000m ³ /s <樋渡地点> : 7,000m ³ /s <宮崎地点>
S46 年 8 月 26～30 日 (台風第 23 号)	約 6,000	負傷者 : 4 名 家屋全壊 : 4 戸 家屋半壊 : 6 戸 床上浸水 : 294 戸 床下浸水 : 1083 戸	昭和 39 年 総体計画 基本高水のピーク流量 : 7,500m ³ /s <宮崎地点> 計画高水流量 : 7,000m ³ /s <宮崎地点>
S57 年 8 月 24～27 日 (台風第 13 号)	約 7,800	家屋全壊 : 18 戸 床上浸水 : 264 戸 床下浸水 : 463 戸	昭和 40 年 工事実施基本計画 基本高水のピーク流量 : 7,500m ³ /s <宮崎地点> 計画高水流量 : 7,000m ³ /s <宮崎地点>
H 1 年 7 月 24～8 月 3 日 (台風第 11 号)	約 7,000	家屋全壊 : 62 戸 床上浸水 : 79 戸 床下浸水 : 323 戸	
H 2 年 9 月 27～29 日 (台風第 20 号)	約 6,300	行方不明者 : 1 名 負傷者 : 5 名 家屋全壊 : 2 戸 家屋半壊 : 57 戸 床上浸水 : 1187 戸 床下浸水 : 1908 戸	
H 5 年 7 月 31 日～8 月 2 日 (前線)	約 7,700	死者 : 1 名 負傷者 : 2 名 家屋全壊 : 12 戸 家屋半壊 : 2 戸 床上浸水 : 771 戸 床下浸水 : 784 戸	平成 15 年 河川整備基本方針の策定 基本高水のピーク流量 : 9,700m ³ /s <柏田地点> 計画高水流量 : 8,700m ³ /s <柏田地点>
H 9 年 9 月 14～16 日 (台風第 19 号)	約 8,000	死者 : 2 名 負傷者 : 3 名 家屋全壊 : 1 戸 家屋半壊 : 24 戸 床上浸水 : 401 戸 床下浸水 : 586 戸	平成 17 年 大淀川源流災害対策特別緊急事業
H16 年 8 月 29～30 日 (台風第 16 号)	約 7,300	負傷者 : 7 名 家屋全壊 : 2 戸 家屋半壊 : 5 戸 家屋流出 : 7 戸 床上浸水 : 164 戸 床下浸水 : 203 戸	平成 18 年 河川整備計画の策定 河川整備計画の目標流量 : 8,100m ³ /s <柏田地点> 河道の配分流量 : 7,200m ³ /s <柏田地点>
H17 年 9 月 4～6 日 (台風第 14 号)	約 10,500	家屋全壊 : 908 戸 家屋半壊 : 2147 戸 床上浸水 : 3834 戸 床下浸水 : 872 戸	平成 28 年 河川整備基本方針の変更 基本高水のピーク流量 : 11,700m ³ /s <柏田地点> 計画高水流量 : 9,700m ³ /s <柏田地点>

※1 昭和 35 年以前の流量は、雨量からの推算値。

昭和 36 年以降の流量は、実績流量（ダムなし計算流量－ダムあり計算流量）の流量を 100m³/s 単位で切り上げた値。

※2 昭和 24 年以前については宮崎県下、昭和 29 年以降については流域関連市町の被害状況。被害状況（出典：高水速報等）には、支川等からの氾濫による被害も含む。

表 1-2-1 五ヶ瀬川的主要洪水

洪水年月日	原因	流量	被害状況
昭和 18 年 9 月 18~20 日	台風 15 号	不明	死者 114 名、行方不明者 1 名、負傷者 161 名 家屋全半壊 1,535 戸、床上浸水 8,435 戸 〔宮崎県内 宮崎県災異誌より〕
昭和 29 年 9 月 10~13 日	台風 12 号	不明	死者 12 名、行方不明者 4 名、負傷者 15 名 家屋全壊 379 戸、家屋半壊 916 戸 床上浸水 3,810 戸、床下浸水 2,421 戸 〔流域内 宮崎県災異誌より〕
昭和 46 年 8 月 27~30 日	台風 23 号	五ヶ瀬川 三輪：5,500 m^3/s 祝子川 佐野：929 m^3/s 北川 熊田：2,544 m^3/s	死者 11 名、負傷者 8 名、家屋全半壊 19 戸 一部損壊 66 戸、床上浸水 295 戸 床下浸水 574 戸 〔流域内 宮崎県災異誌より〕
昭和 57 年 8 月 25~27 日	台風 13 号	五ヶ瀬川 三輪：5,000 m^3/s 祝子川 佐野：747 m^3/s 北川 熊田：2,607 m^3/s	家屋全半壊 7 戸、一部損壊 15 戸、 床上浸水 51 戸、床下浸水 116 戸 〔流域内 宮崎県災異誌より〕
平成 5 年 8 月 8~10 日	台風 7 号	五ヶ瀬川 三輪：6,441 m^3/s 祝子川 佐野：755 m^3/s 北川 熊田：2,220 m^3/s	死者 2 名、負傷者 11 名、家屋全半壊 19 戸 床上浸水 388 戸、床下浸水 508 戸 〔流域内 高水速報より〕
平成 9 年 9 月 13~16 日	台風 19 号	五ヶ瀬川 三輪：5,953 m^3/s 祝子川 佐野：1,091 m^3/s 北川 熊田：5,067 m^3/s	死者 1 名、家屋全半壊 21 戸 床上浸水 1,762 戸、床下浸水 1,217 戸 〔流域内 高水速報より〕
平成 16 年 8 月 30 日	台風 16 号	五ヶ瀬川 三輪：6,235 m^3/s 祝子川 佐野：1,038 m^3/s 北川 熊田：2,543 m^3/s	死者 1 名、家屋全半壊 34 戸、床上浸水 64 戸 床下浸水 65 戸 〔流域内 高水速報より〕
平成 16 年 10 月 20 日	台風 23 号	北川 熊田：2,014 m^3/s	家屋全半壊 4 戸、床上浸水 262 戸 床下浸水 408 戸 〔流域内 高水速報より〕
平成 17 年 9 月 5 日	台風 14 号	五ヶ瀬川 三輪：7,858 m^3/s	死者 7 名、家屋全半壊 67 戸、床上浸水 1038 戸 床下浸水 657 戸 〔流域内 高水速報より〕

【平成 17 年 9 月台風洪水（台風第 14 号）の概要】

- ・大型で非常に強い台風 14 号は、宮崎県内を暴風雨域に巻き込みながら、九州の西の海上をゆっくりとした速度で通過し、山地部を中心に総雨量が 1,000 mm を超える記録的な豪雨が発生した。
- ・この台風は 9 月 3 日から 8 日にかけて猛威をふるい、人的被害は大分県で死者 1 名・行方不明者 3 名、宮崎県で死者 13 名、鹿児島県で死者 5 名となった。建物被害は家屋全壊が熊本県 1 戸、大分県 6 戸、宮崎県 1,104 戸、鹿児島県 53 戸、床上浸水が福岡県 4 戸、熊本県 52 戸、大分県 296 戸、宮崎県 1,462 戸、鹿児島県 269 戸発生したとされている。
- ・県内でも記録的な豪雨をもたらし、連続雨量は青井岳で 1,144 mm、霧島 1,374 mm も達するなど、3 日間で年間降水量の 1/3 超を記録した。
- ・この雨により、基準地点柏田で 9.89m、上流樋渡地点で 10.65m と計画高水位を上回る観測史上最高推移を記録する等、大規模洪水の発生により大淀川水系の広範囲で洪水氾濫による甚大な被害が発生した。

▼平成 17 年 9 月台風洪水による大淀川水系の被災状況

流失及び全半壊戸数	3,055 戸
床上浸水	3,834 戸
床下浸水	872 戸
浸水面積	3,321ha

【平成 17 年 9 月台風洪水の被災状況】



▲都城市金田地区



▲都城市金田地区高城町有水地区



▲宮崎市高岡町内山地区



▲宮崎市高岡町麓地区

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成 30 年 6 月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

【平成17年9月台風洪水の概要】

洪水の概要

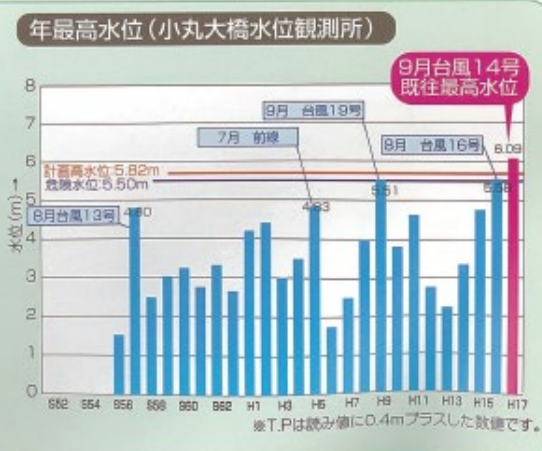
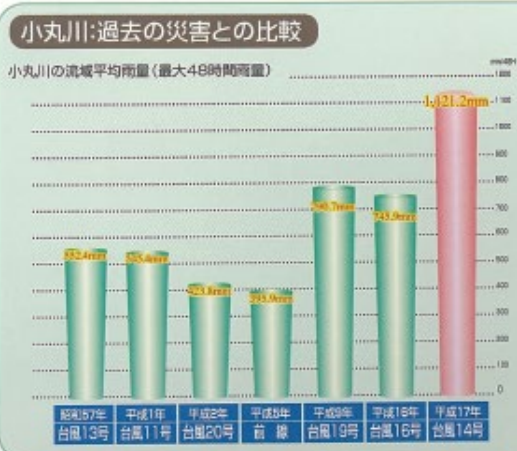
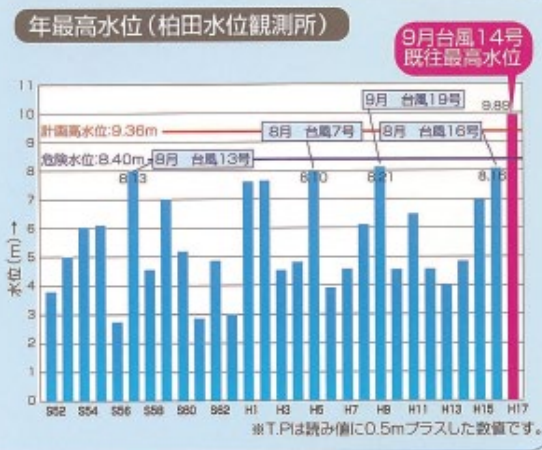
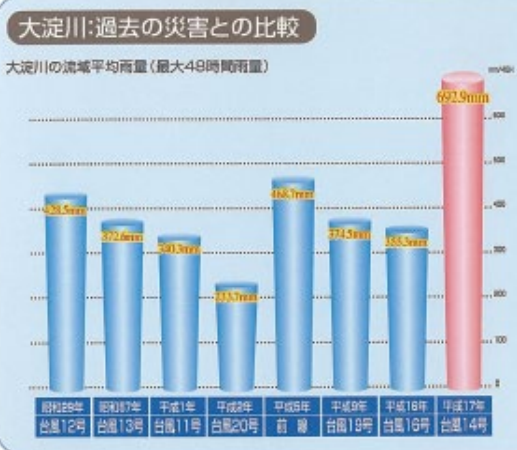
平成17年9月6日、大型で非常に強い台風14号は宮崎県内を暴風雨域に巻き込みながら、九州の西の海上をゆっくりとした速度で通過し、県内に記録的な豪雨をもたらしました。

宮崎県南部は5日午後6時に暴風域に入り、大淀川水系三股観測所で1,356mm、小丸川水系神門観測所で912mmに達するなど、3日間で年間降水量の1/3超を記録しました。

このため大淀川・小丸川水系の各河川においては河川整備の基本となる「計画高水位」を上回る洪水となり、宮崎市、都城市、高鍋町などで多くの家や田畑が被害を受けました。



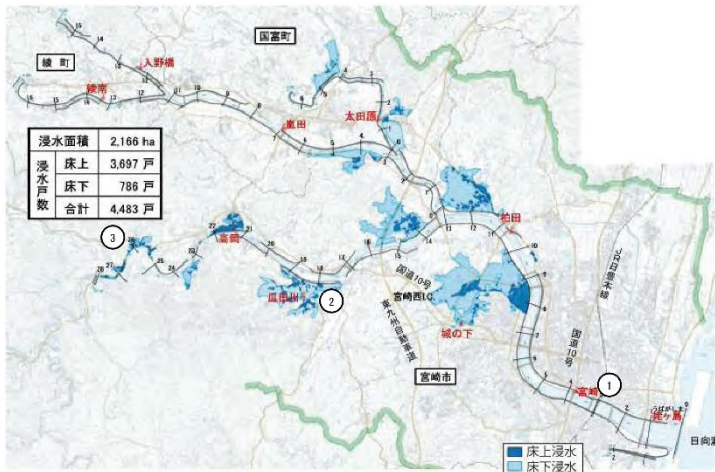
宮崎県では、えびの市、南郷村で総雨量1,300mmを超過。南九州地方の年平均降水量2,491mmの約半分が3~4日間で降った計算になります。



出典：水害の記憶（出版年不明）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

【平成 17 年 9 月台風洪水の被災状況】

(1) 被害状況（下流部）



①宮崎市吾妻町
大淀川左岸 2k800

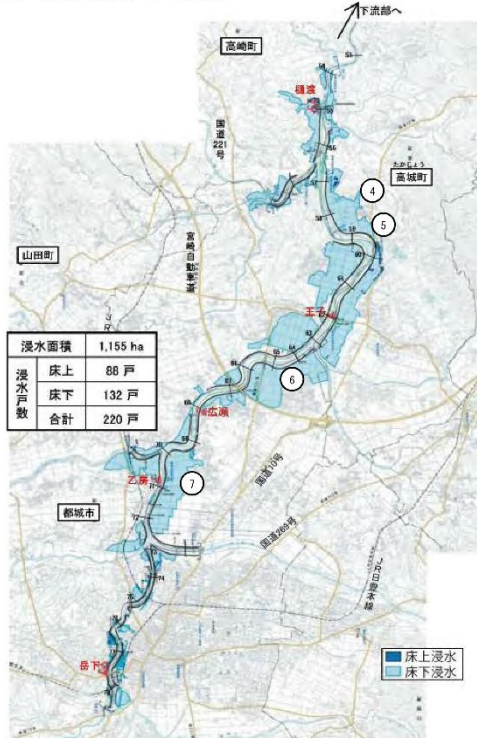


③宮崎市高岡町赤谷
国道 10 号
大淀川左岸 26k000



②宮崎市高岡町 麓
主要道日南高岡線
大淀川右岸 18k000

(2) 被害状況（上流部）



④高城町



⑤高城町石山
国道 10 号
大淀川右岸 59k200



⑥高城町
高木橋付近
大淀川右岸 64k100



⑦都城市
高木原揚水機場
大淀川右岸 70k900

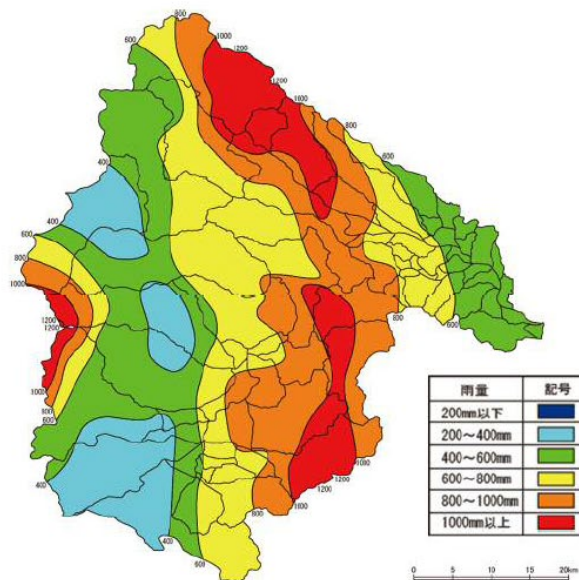
出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成 30 年 6 月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

▼平成17年9月台風洪水時の台風経路図及び等雨量線図（9月5～6日）

台風経路図



等雨量線図
(48時間雨量)

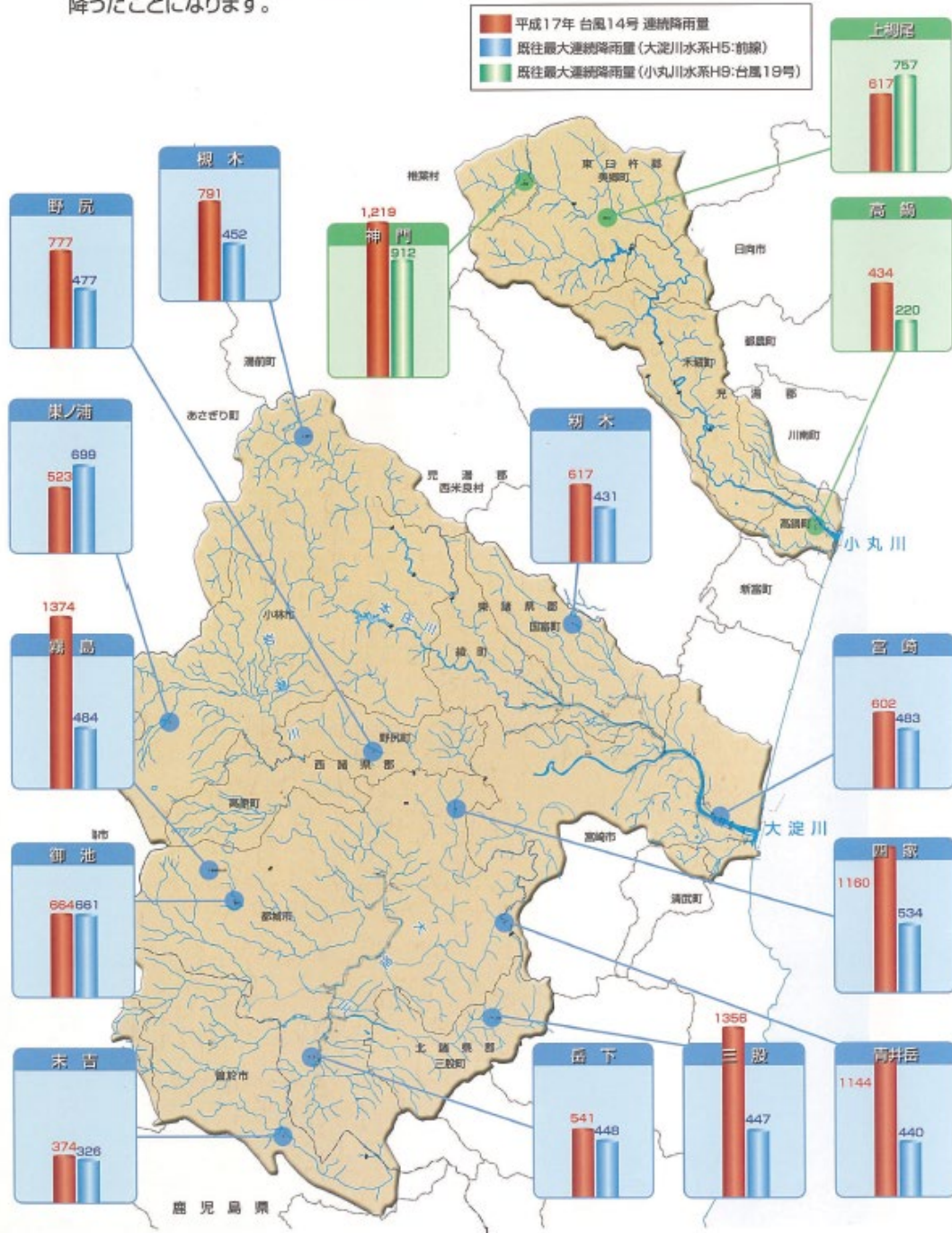


出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

大淀川・小丸川流域降雨状況

台風14号は、大淀川・小丸川流域に記録的な大雨をもたらしました。

台風14号とこれまでの最大雨量を比較すると、大淀川は約1.5倍、小丸川は約1.4倍の雨が降ったことになります。



出典：水害の記憶（出版年不明）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

宮崎市



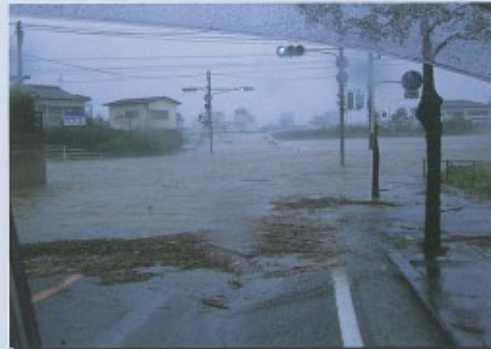
宮崎市吾妻町 大淀川左岸 (2k800)



宮崎市吾妻町 大淀川左岸 (2k900)



宮崎市中村町 国道220号 大淀川右岸 (3k900)



宮崎山下小松 支川大谷川右岸 若宮橋付近



宮崎山下小松 支川大谷川 油出橋下流



宮崎山下小松 大淀川右岸 (7k800)

出典：水害の記憶（出版年不明）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

宮崎市



宮崎市下小松 大淀川右岸(7k900)



宮崎市小松 大淀川右岸(8k000)



宮崎市下小松 県道17号をのぞむ
大淀川右岸(8k700)



宮崎市下小松 平和台大橋上流 大淀川右岸(8k700)



宮崎市上北方 県道26号 大淀川左岸(9k800)



宮崎市上北方 水辺の楽校 大淀川左岸(10k000)

出典：水害の記憶（出版年不明）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

【記念碑（ため池決壊）：宮崎県宮崎市】

- ・大正5年10月豪雨で決壊した新池の堤防沿いに、修繕時の「記念碑」が建っている。碑文には、被災状況や水害の経緯が掲載されている。
- ・大正5年10月豪雨では堤防が90mに渡って決壊する被害を出した。



▲記念碑の位置（宮崎県宮崎市）



▲記念碑（宮崎県宮崎市新池堤防そば）

令和2年11月25日撮影



▲記念碑碑文

令和2年11月25日撮影

■記念碑の碑文

宮崎郡下北方村字沖田ノ地稲田約百町歩アリ

面シテ古来水利ニ乏シク天水ヲ待チ井ヲ設ケ僅ニ灌溉ニ供シタリー ●労益酬セス加
ラル 早害屢至ルニ會ス同村庄屋小川栄吉郎夙ニ之ヲ患ヒ率先溜池築造ノ急ヲ説テ衆議
ヲ決シ文久元年11月地ヲ陣●平ニ●シニ●ヲ●シ文久2年4月成ル名ケテ新池ト称ス●
七町八反歩夫役要スル所村内一万六千四百十之村外一万五千百五十万雨求復夕早●ノ患
ナク禾穀穰々民庶永ク其恵澤ヲ被ル

大正五年十月豪雨堤防ヲ壊ルコト五十間乃チ同年十二月十六日以来村内夫役三千百十
三村外夫役八百六十五ヲ以テ修繕ヲ加ヘ大正六年一月十一日竣工旧ニ復ス仍テ碑ヲ建て
記念トス (大正六年二月建碑)

※読み取れなかった部分を●としている

【大淀川記念碑：宮崎県宮崎市】

- ・宮崎県宮崎市の大淀川高松橋堤防沿いに、修繕時の「記念碑」が建っている。碑文には、建立の経緯や理由が記されている。



▲記念碑の位置（宮崎県宮崎市）



令和2年11月25日撮影

▲記念碑（宮崎県宮崎市新池堤防そば）



▲記念碑碑文

令和2年11月25日撮影

■記念碑の碑文

大淀川は鹿児島熊本両県に源を發し宮崎平野を流れて太平洋に注ぐ九州屈指の大河川なり。沿岸の産業文化交通は往時より大淀川の生吹と共に發達したり。本会は戦後の堤防の荒廢復旧と常時管理食糧難による堤防内の無秩序の開墾是正未堤地区の築堤合流地点の水門の建設を目的として結成せり。

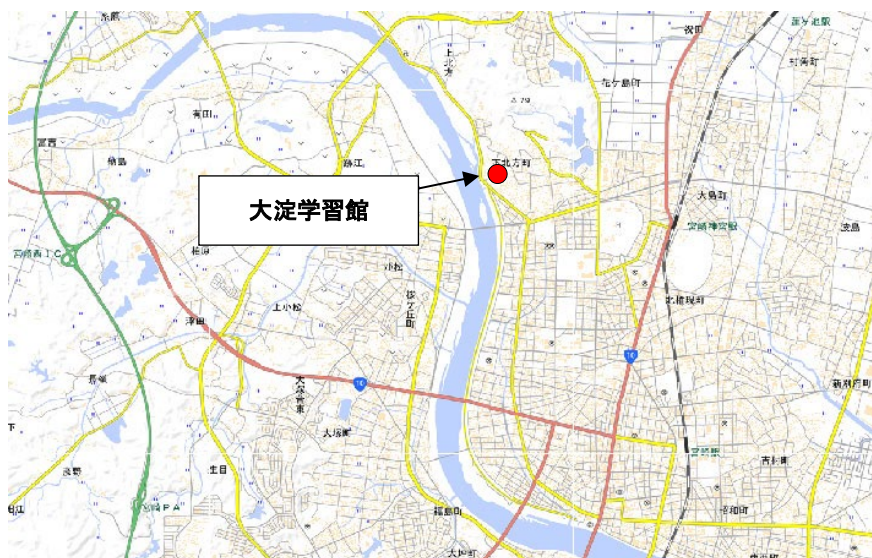
勿論建設省大淀川工事事務所長柿徳一氏の指導によるものにして戦前よりの堤防愛護会長戸高安平を会長とし河口より兩岸部落と綾高岡町を含み三十六支部をもって昭和二十二年八月二十八日結成せり。堤防の長さ三十四軒耕地二十六町を管理す。その間年一回草場焼と小修理工事事務所との合同検査年二回の総会により支部要望事項の陳情水門建設の政府陳情の外洪水時の護岸活動をなせり。

しかるに戦後二十年時勢の進展に供に国県の築堤工事費の増大は民間団体の管理と陳情を必要とする度減少せるをもって総会の決議により支部毎の堤防管理として解放す。

昭和三十九年四月三十日 大淀川治水協力会建之

【大淀川浄化活動及び大淀川学習のシンボル：宮崎県宮崎市 大淀学習館】

- ・宮崎県宮崎市下北方町の大淀川沿いに、大淀学習館が建っている。大淀学習館は「水辺の楽校」及び「里山の楽校」とあわせて、自然体験や環境教育など、大淀川の恵まれた自然を広く学習・体験できる総合学習施設となっている。



▲大淀学習館の位置（宮崎県宮崎市）



▲大淀学習館

令和2年11月25日撮影

▼大淀川水系既往洪水の概要

洪水名 (発生原因)	流量(m ³ /s) ^{※1} <柏田>	被害状況 ^{※2}	備考
S11年7月22～23日 (暴風雨)	不明	死者 : 3名 負傷者 : 2名 家屋全壊: 6戸 家屋半壊: 7戸 家屋流出: 7戸 家屋浸水: 5173戸	昭和2年 大淀川下流、本庄川下流の直轄改修工事 計画高水流量: 5,500m ³ /s<宮崎地点>
S18年9月18～20日 (台風第26号)	不明	死者 : 114名 負傷者 : 161名 行方不明: 1名 家屋全壊: 567戸 家屋半壊: 1165戸 家屋流出: 508戸 床上浸水: 9361戸	
S24年8月14～16日 (台風第9号)	不明	死者 : 7名 負傷者 : 15名	昭和24年 大淀川上流の直轄改修工事 計画高水流量: 3,000m ³ /s<樋渡地点>
S29年9月10～13日 (台風第12号)	約7,000	死者 : 5名 負傷者 : 10名 家屋全壊: 72戸 家屋半壊: 215戸 家屋流出: 28戸 床上浸水: 3173戸 床下浸水: 5303戸	昭和28年 総体計画 計画高水流量: 4,000m ³ /s<樋渡地点> : 7,000m ³ /s<宮崎地点>
S46年8月26～30日 (台風第23号)	約6,000	負傷者 : 4名 家屋全壊: 4戸 家屋半壊: 6戸 床上浸水: 294戸 床下浸水: 1083戸	昭和39年 総体計画 基本高水のピーク流量: 7,500m ³ /s<宮崎地点> 計画高水流量: 7,000m ³ /s<宮崎地点>
S57年8月24～27日 (台風第13号)	約7,800	家屋半壊: 18戸 床上浸水: 264戸 床下浸水: 463戸	昭和40年 工事実施基本計画 基本高水のピーク流量: 7,500m ³ /s<宮崎地点> 計画高水流量: 7,000m ³ /s<宮崎地点>
H1年7月24～8月3日 (台風第11号)	約7,000	家屋半壊: 62戸 床上浸水: 79戸 床下浸水: 323戸	
H2年9月27～29日 (台風第20号)	約6,300	行方不明者: 1名 負傷者 : 5名 家屋全壊: 2戸 家屋半壊: 57戸 床上浸水: 1187戸 床下浸水: 1908戸	
H5年7月31日～8月2日 (前線)	約7,700	死者 : 1名 負傷者 : 2名 家屋全壊: 12戸 家屋半壊: 2戸 床上浸水: 771戸 床下浸水: 784戸	平成15年 河川整備基本方針の策定 基本高水のピーク流量: 9,700m ³ /s<柏田地点> 計画高水流量: 8,700m ³ /s<柏田地点>
H9年9月14～16日 (台風第19号)	約8,000	死者 : 2名 負傷者 : 3名 家屋全壊: 1戸 家屋半壊: 24戸 床上浸水: 401戸 床下浸水: 586戸	平成17年 大淀川激甚災害対策特別緊急事業
H16年8月29～30日 (台風第16号)	約7,300	負傷者 : 7名 家屋全壊: 2戸 家屋半壊: 5戸 家屋流出: 7戸 床上浸水: 164戸 床下浸水: 203戸	平成18年 河川整備計画の策定 河川整備計画の目標流量: 8,100m ³ /s<柏田地点> 河道の配分流量: 7,200m ³ /s<柏田地点>
H17年9月4～6日 (台風第14号)	約10,500	家屋全壊: 908戸 家屋半壊: 2147戸 床上浸水: 3834戸 床下浸水: 872戸	平成28年 河川整備基本方針の変更 基本高水のピーク流量: 11,700m ³ /s<柏田地点> 計画高水流量: 9,700m ³ /s<柏田地点>

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]